



国東オリーブの「今」をお伝えします！

# くにさきオリーブだより



## 受粉するための雌しべ



○あり 完全花    ×なし 不完全花



## 5/24・29・30開花講習会を開催しました

国東ではなぜか!?北から南へ開花前線が下がるオリーブの花です。その開花時期にあわせ講習会を行い、受粉の基礎、不完全花、生理落果があることや梅雨時期の防除について講習を行いました。また今回は国東産オリーブオイルのテイastingも各種行わせていただき、その違いに皆さんも驚かれていた様子でした。苦味・辛みのあるオリーブオイルは身体に良いポリフェノールによるもので新鮮な状態で搾油されている証です。料理とあわせることでワンランク上の仕上がりとなり、より一層国東オリーブオイルの良さが伝わると思います。ぜひ、お試しいただけますと嬉しいです！

▶9/1オリーブセミナー開催決定！  
講演・国東オリーブオイル料理試食会  
などを行います！詳細は次号にて…！



オリーブだよりではお伝えできる内容が限られてます。ぜひ、講習会にご参加ください!!

# 国東オリーブ夏季(7~8月)の栽培管理

夏季は最も葉が茂り、樹が成育する季節ですが反面、雨や過湿、台風の強風、ゾウムシの発生により、**樹が最も枯れることも多いです**。病虫害の発生が多くなる時期ですので、注意しましょう。



## 1 灌水

梅雨が明けると、秋雨の始まる9月までは非常に暑い日々が続き、国東では極端に雨が降らなくなります。オリーブは乾燥に強い品目ではありますが、幼木や多くの実が取れる樹には、最後に**雨が降らなくなってから7~10日に1回**灌水すると良好な生育や果実の増収が見込めます。



## 2 防除

オリーブはオリーブアナアキゾウムシの被害が発生するので、**農薬を使った防除は絶対に行ってください**。オリーブは年間4~10回程防除を行いますが、果樹の中では防除回数は少ないです。※次回の講習会で、実際に使う道具、希釈方法、散布の仕方について実演致します！



**⚠️ 要注意！防除で守ること！！**

### ①使用する農薬の種類

農薬は品目により使える農薬が決められていて、オリーブはマイナー品目の為**使える農薬が少ないです**。必ず登録のある農薬を使いましょう。



# 国東オリーブ夏季(7~8月)の栽培管理

## ②倍率

決められた倍率で希釈してください。農薬により倍率が変わりますが、オリーブは50倍、600倍、1000倍、2000倍でほとんどの薬は撒けます。

## ③散布方法 薬剤により散布方法が決まっています。

散布方法	主な薬剤	どこに撒く？
散布	ダントツ水溶剤等	樹の全体・葉の隅々まで
樹幹散布	スミチオン乳剤	樹の幹
茎葉散布	除草剤	雑草の茎葉にかかるように
塗布	トップジンMペースト	剪定時の切り口に塗り込む

## ④収穫前日数

農薬は必ず収穫まで何日前まで使用できるかが決まっています。

怠ると、残留農薬が検出されて出荷停止になりますので注意しましょう。



### 炭疽病殺菌剤の散布(植え付け1年~)

梅雨明け時には殺菌剤を散布しましょう。

以下3種のうち、いずれかを使用しましょう。

方法:全体散布

期間:梅雨明け

(目安は7月下旬)



アミスター10フロアブル

1

倍率1,000倍

収穫30日前まで

年2回まで使用可



## 特徴

効果は高く、病気を治癒する能力もある。

「アミスター20」は野菜用のため  
使用できません！

# 国東オリーブ夏季(7~8月)の栽培管理

## クプロシールド

2

倍率500~1,000倍  
収穫前日まで  
使用回数/制限なし



## 特徴

銅により菌の感染を抑える。発病した果実を治癒する力はない。ICボルドーと同様の効果だが散布しやすく、多くの薬剤と混合可能。

## icボルドー66D

3

倍率50倍  
使用時期・回数  
制限なし



## 特徴

散布後は白くなるので薬の薬効を一目で見分けられる。周囲も白くなるので住宅地の近くの園地では散布は避けた方が良い。

## オリーブアナアキゾウムシ、カメムシの防除(植え付け2年~)

近年ゾウムシの被害が大きく、特に11月以降にもゾウムシが発生する事例が増えています。4,6,8月に使用するスミチオン乳剤だけでは回数<sup>回数</sup>が足りない<sup>少ない</sup>ので、8月の使用をダントツ水溶剤かアディオオン水和剤に変更して、11月に使えるスミチオンを残すようにしましょう。ダントツ水溶剤及びアディオオン水和剤は、8月中旬以降に発生するカメムシ、ハマキムシにも効果があります。カメムシは果実の果汁を吸い、塩水漬け品種の商品価値を低下させます。



ダントツ水溶剤  
果実:収穫前日  
年2回以内

アディオオン水和剤  
果実:収穫7日前  
年2回以内



倍率:2,000倍

使用方法:散布

期間:8月

▶カメムシには  
8月中旬以降が有効



果実:収穫21日前  
年3回まで



ゾウムシが慢性的に発生している場合はスミチオン乳剤50倍を樹幹散布しましょう。その場合はダントツ又はアディオオンを11月に使用して下さい。




# 国東オリーブ夏季(7~8月)の栽培管理

## ハマキムシの防除(植え付け1年~)

8月下旬~9月上中旬にかけて、ハマキムシ(主にマエアカスカシノメイガ)の幼虫に新芽が食害を受けます。新芽を巻いて中に潜み、葉の表皮を食べるので食害痕は非常に見分けやすいですが、発見が遅れると既に食べつくした後であることも多いです。特に若木が多く食害を受けると、生育に影響が出るほどの被害を受けます。ダントツ水溶剤かアディオン水和剤を使用して、それでも被害が止まらない場合はもう一度使用しましょう。



**ダントツ水溶剤**  
果実:収穫前日  
年2回以内



**アディオン水和剤**  
果実:収穫7日前  
年2回以内

倍率:2,000倍  
使用方法:散布  
期間:8月下旬~  
9月上中旬

**ハマキムシ**



## 除草剤

雑草管理を怠ると、幼木であれば樹が勢いに負けたり、大きい樹でもゾウムシが潜む場所となりますので、定期的な除草を行いましょ。刈払い機でも除草剤を使用しても構いません。オリーブに使用できる除草剤です。散布時はなるべくオリーブの葉に当たらない散布を心がけてください。また散布する器具は、農薬と除草剤は別の物を使用して下さい。

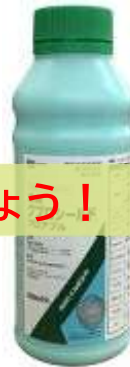
薬剤名	倍率	使用方法	使用回数	収穫前日数
ラウンドアップ マックスロード	25~500倍	雑草茎葉散布 	合わせて	7日前まで
サンフーロン	50~400倍		3回以内	7日前まで
ザクサ液剤	100~500倍		3回以内	前日まで
プリグロックSL	50~187.5倍		5回以内	前日まで



## 推奨する防除例

- 1 梅雨が明けたら・・・アミスター10フロアブル
  - ▶殺菌剤の中で効果が高く、梅雨の長雨で菌が蔓延している可能性が高いため
- 2 お盆前後に・・・アディオン水和剤(ダントツ水溶剤でも良い)
  - ▶ゾウムシの前回の防除から、約2か月後かつ、カメムシの活動が活発になる時期
- 3 秋雨の前に・・・ダントツ水溶剤(アディオン水和剤でも良い)とクプロシールドを混合
  - ▶ハマキムシが多く発生する時期で、ゾウムシにも効果がある。
  - ▶クプロシールドは混合できるので、合わせて炭疽病の予防を行う。

薬剤名	倍率	使用方法	期間	対象病害虫
アミスター10 フロアブル	1,000	散布	梅雨明け (7月下旬)	炭疽病
アディオン水和剤	2,000	散布	8月中旬 (盆前後)	ゾウムシ・カメムシ
ダントツ水溶剤	2,000	散布	9月上旬 (秋雨前)	ゾウムシ・ハマキムシ
クプロシールド フロアブル	1,000	散布	ダントツ水和剤 と混合	炭疽病



適切な防除を行いオリーブの木を守りましょう！



【編集後記】今年初めてオリーブの花を見ることができました！花が散り実になっていく様子を観察し、植物って不思議だなあ〜と改めて感じました。また園地巡回を重ねていくうち、上田専門員より「オリーブアナアキゾウムシハンター」の称号をいただきました。うちの園地も見てください！ご希望がありましたらお気軽に連絡ください！ハンターが伺わせていただきます！